

平成29年度

社会福祉法人緑友会 事業報告

- I 法人本部
- II みどり園 [指定障害者支援施設・短期入所事業・地域生活支援事業・レスパイト事業]
- III 清川ホーム [指定障害者支援施設・短期入所事業・地域生活支援事業]
- IV 伊勢原ふたば保育園 [認可保育所・地域育児センター事業]
- V 本厚木ふたば保育園 [認可保育所]
- VI げんき家 [共同生活援助事業]
- VII つくし [就労継続支援B型事業]
- VIII アトリエ ヴェルデ [就労継続支援B型事業]
- IX つくし相談室 [相談支援事業]
- X 施設間連携室

自 平成29年4月 1日

至 平成30年3月31日

I 法人本部

【総括】

平成29年度は社会福祉法改正後の法人運営初年度として、改正後の社会福祉法に基づいた運営体制を整えることができました。

ソフト面では、平成25年度以来の課題でありました財政面の強化に関して、徹底した予算執行管理により、平成28年度に引き続き平成29年度も黒字決算とすることができました。なお、成瀬スタジオ未活用地の売却については、平成28年度に予定していた土地全体の一括売却から16区画に分譲する方法とし、平成29年度は1期分として8区画を売却することとした結果、8区画の一括売却契約を交わせたことから平成30年度に売却収入を確保できることとなりました。

また、平成29年度は、支援員6名・保育士9名・調理員2名・事務員1名の18名もの職員が退職することから職員確保に重点的に取り組みました。学校訪問、ハローワーク、就職説明会参加、求人広告、マイナビに加えて新たにインディードへの登録、ホームページの改善など様々な手法による職員確保に努めた結果、支援員7名・保育士1名・調理員2名・栄養士1名・事務員1名の12名の職員を確保することができました。

しかしながら、全国的に保育士不足が深刻な中、退職した保育士9名を補充することができなかつたために、伊勢原ふたば保育園・本厚木ふたば保育園で年度当初に0歳児の受入れができない状況となったことから、平成30年度も一層の職員確保に努めてまいります。

ハード面では、成瀬スタジオの事務食堂棟・作業棟の建築工事に7月に着工し11月末に完成、12月にアトリエ ヴェルデが田中のサンライトオアシスから移転し事業を開始する等、スムーズな事業所移転ができました。また、みどり園既存棟第5期改修工事で耐震補強、第6期改修工事で1階男性居室・浴室・トイレ等の改修を完了しました。さらに、平成10年に開園して以来更新していなかった、伊勢原ふたば保育園の厨房機器の入替を行うとともに新たにスチームコンベクションオーブンを導入するなど厨房環境の向上を図ることができました。

このほか、処遇改善委員会における処遇改善手当の支給、週休2日制導入など事業所毎の働きやすい勤務体制の検討、業務改善委員会による各施設における業務改善の検討や平成13年度からみどり園で実施しているレスパイト事業の受託を平成29年度末で終了することなど、法人全体の課題解決に向けた一定の成果が得られたものと考えます。

引き続き、利用者や園児に対する支援や保育の充実・向上や職員確保、円滑な法人運営に努めてまいります。

1 評議員会

平成29年 6月28日

【議案】

- ・平成28年度事業報告及び収入支出決算について
- ・理事7名の選任について
- ・監事2名の選任について
- ・評議員及び役員報酬等の支給の基準並びに報酬等の額の決定について

【報告事項】

- ・法人の状況について(財政運営に係わるデータについて)
- ・成瀬スタジオの状況について

平成29年11月 2日

【議案】

- ・平成29年度補正予算(第1号)について

【報告事項】

- ・平成29年度中間決算(見込み)について
- ・10月1日時点での入所者・園児等の状況について
- ・成瀬スタジオの状況について

【その他】

- ・指導監査・実地指導の結果について

平成30年 3月28日

【議案】

- ・平成30年度事業計画及び予算について

【報告事項】

- ・主な出来事について
- ・3月1日時点での入所者・園児等の状況について
- ・成瀬スタジオ未活用地の売却について

2 理事会

平成29年 4月26日

【議案】

- ・社会福祉法人緑友会理事会運営規程の制定について
- ・社会福祉法人緑友会評議員会運営規程の制定について

【報告事項】

- ・4月1日時点での入所者・園児等の数及び新年度スタートの状況について
- ・成瀬スタジオの状況について
- ・一般就労後に問題を起こした元つくし利用者について

平成29年 5月31日

【議案】

- ・成瀬スタジオ建築工事(作業棟建築工事)の入札について
- ・成瀬スタジオ建築工事(事務食堂棟建築工事)の入札について
- ・成瀬スタジオ建築工事(電気空調設備工事)の入札について
- ・成瀬スタジオ建築工事(給排水衛生設備工事)の入札について
- ・成瀬スタジオ未活用地の売却について
- ・金融機関からの借入(6月賞与支給等に係る一時借入金)について

【報告事項】

- ・決算説明時、4つのグラフの見直しについて
- ・定時評議員会の開催日程について

平成29年 6月13日

【議案】

- ・平成28年度事業報告及び収入支出決算について
監査報告
- ・平成29年度定時評議員会の招集について

【報告事項】

- ・事業報告の発行について

平成29年 6月28日

【議案】

- ・理事長の選定について

平成29年 7月26日

【報告事項】

- ・7月1日時点での入所者・園児等の状況について
- ・入院されている利用者の状況について
- ・成瀬スタジオの状況について
- ・第3回(6月13日)理事会での質疑について

平成29年 8月30日

【報告事項】

- ・成瀬スタジオの状況について
- ・みどり園既存棟改修工事(第6期)について
- ・災害時対応について
- ・レスパイトサービス検討委員会について
- ・処遇改善について
- ・清川ホームの建物調査について

平成29年 9月26日

【議案】

- ・金融機関担当支店の変更について

【報告事項】

- ・成瀬スタジオの状況について
- ・みどり園既存棟改修工事（第6期）について
- ・レスパイトサービス事業について
- ・清川ホーム：消防等の立入調査結果について
- ・平成29年度処遇改善について

平成29年10月25日

【議案】

- ・平成29年度補正予算（第1号）について
- ・平成29年度第2回評議員会の招集について
- ・（追加）成瀬スタジオ整備工事の入札について

【報告事項】

- ・平成29年度中間決算（見込み）について
- ・10月1日時点での入所者・園児等の状況について
- ・成瀬スタジオの状況について

平成29年11月29日

【議案】

- ・経理規程の一部を改正する規程について
- ・育児休業・介護休業等に関する細則の制定について
- ・職員就業規則等の一部を改正する規則について
- ・清川ホーム指摘事項等改善計画作成業務の委託契約について
- ・金融機関からの借入（12月賞与支給等に係る一時借入金）について

【報告事項】

- ・みどり園、清川ホーム等の指導監査、実地指導の結果について
- ・第2回評議員会について
- ・本厚木ふたば保育園の指導監査結果について
- ・成瀬スタジオの状況について
- ・平成29年度処遇改善検討委員会について
- ・理事会提出議案：今後の見通し

平成29年12月27日

【報告事項】

- ・成瀬スタジオの状況について
- ・法人本部の指導監査について
- ・その他（1年を振り返って）

平成30年 1月31日

【報告事項】

- ・訃報
- ・神奈川県 の指導監査（法人本部）について
- ・1月1日時点での入所者・園児等の状況について
- ・成瀬スタジオ未活用地の状況について
- ・その他（職員数・就業規則・清川ホーム改修工事について）

平成30年 2月28日

【報告事項】

- ・指導監査（法人本部）の結果について
- ・平成30年度事業計画及び予算について
- ・職員就業規則の一部を改正する規則について
- ・みどり園既存棟改修工事の総額について
- ・その他（平成30年度理事会開催日程（案）について）

平成30年 3月20日 【議案】

- ・平成30年度事業計画及び予算について
- ・職員就業規則の一部を改正する規則について
- ・顧問の委嘱について
- ・平成29年度第3回評議員会の招集について
- ・(追加) みどり園既存棟改修工事・変更契約について

3 代表者会議

理事長、支援部門総括責任者、長塚顧問、総務局長、総務部長、各施設長を構成員として、毎月(年12回)開催。法人全体に係わる問題・課題等についての協議のほか、各施設の主な課題等についての協議や事業の報告等を行い、法人全体で共通認識や意思統一を図った。

4 広報戦略会議

理事長、支援部門総括責任者、担当理事、総務部担当職員2名を構成員とし、11回開催。広報誌の内容、各施設ホームページの修正及び基本資料(パンフレット)の作成、事業報告の作成などに関して協議を行った。

- ・基本資料作成
法人本部、伊勢原ふたば保育園、本厚木ふたば保育園
- ・ホームページの改善：職員募集
- ・道灌まつり用の顔出し看板の作成
- ・年賀状の作成
- ・各施設の事業報告書の作成
- ・新たな求人サイトへの登録
- ・広報紙 「福祉の輪 広げたい」
第28号(7月発行)：[表紙] 「あつぎ鮎まつり」
第29号(1月発行)：[表紙] 「宮ヶ瀬光のメルヘン」
- ・法人内職員広報誌「ゆう」
V o 1. 0 2 (9月発行)
V o 1. 0 3 (3月発行)

* 平成30年1月に担当理事が急逝されました。

5 処遇改善検討委員会

代表者会議の構成員により4回開催。処遇改善手当、週休2日制導入など事業所毎の働きやすい、より良い勤務体制について検討を行った。

検討項目

- ・平成29年度の処遇改善手当の検討
- ・事業所毎の勤務体制の検討(週休2日制導入など)
- ・平成30年度の処遇改善手当の検討

6 業務改善委員会

代表者会議の構成員により、平成29年度に実施した業務改善に対する評価を行なうとともに、各施設から新たに提案された改善項目について、実施に向けた検討を行った。

- ・改善したものの3件(卒業アルバムの業者委託、保護者への一斉配信メール、メールの印刷節減化)
- ・試験的に導入するもの1件(勤怠システムの導入)
- ・現状のまま2件(ホームページ更新の簡略化、コピー用紙等の一括購入)
- ・今後の検討課題4件(保護者送迎の外部委託、ポケットWi-Fiの導入、保護者送迎時駐車料金徴収、通勤手当の支給方法)

7 成瀬スタジオ未活用部分売却検討会議

成瀬スタジオ未活用部分の土地（1954.38㎡）の売却について、一括売却による契約が不調となったことから、成瀬スタジオ未活用部分売却検討会議を3回開催し、売却方法の検討を行った。建設業法など法令違反とならないよう、行政や税理士、司法書士などと検討を重ね、結果として、全体を16区画に分割し区画分譲する方法とした。平成29年度については、歌川側8区画（982.21㎡）を売却することとし、8区画の売却収入は一括して平成30年度に確保できることとなった。

8 表彰委員会

代表者会議の構成員により年1回開催。永年勤務者の表彰について協議を行った。

- ・永年勤務者表彰
 - 20年表彰 3名
 - 10年表彰 2名
- ・表彰日 平成30年3月24日（法人設立日）

9 医療担当者会議

看護師3名を構成員とし、月1回開催。利用者及び職員の健康管理・疾病予防対策等について協議しその対応を図った。結果として、配置医師の変更やみどり園で健康診断を実施するなどの改善が進んだ。

検討項目

- ・各施設の感染症罹患状況の報告及びその対策について
- ・職員健康診断の実施方法について
- ・配置医師等の検討について

10 職員交流委員会

各施設から選出した委員8名で組織し、9回開催。法人全体の職員交流会の企画・運営を行った。平成29年度は、法人全体の第4回職員交流会を開催したほか、大山登山、ビール工場見学などを実施した。

○職員交流会

- ・内容 懇親会（会場：厚木アーバンホテル）
- ・委員長 柳田将志（つくし相談室室長）
- ・開催日 平成29年11月17日（金） 午後7時から
- ・参加者 56名（職員53名、子ども3名）

○大山登山

- ・開催日 平成29年11月3日（金）
- ・場所 大山
- ・参加者 8名

○ビール工場見学

- ・開催日 平成30年1月21日（日）
- ・参加者 9名

11 調理担当者会議

食事提供をしている施設の調理員5名、総務部1名を構成員として6回開催。職場での課題や問題点の協議や意見交換を行い、より一層の安全・安心な食事提供及び衛生面に配慮した調理業務に向け改善を図った。結果として、初めて他施設での研修を複数回実施して改善点を見つけるなど、改善が進んだ。

検討項目

- ・調理員の他施設での研修について
- ・厨房、食堂の衛生管理・清掃業務について
- ・行事食について
- ・施設間の情報交換

12 栄養士会議

栄養士2名、調理員1名を構成員とし、6回開催。職場での課題や問題点の協議や意見交換を行い、栄養管理業務の改善を図った。

検討項目

- ・食中毒対策について
- ・食材費高騰に伴う節約について
- ・栄養素の底上げ・栄養計算について
- ・栄養摂取量の改善について
- ・各施設間の情報交換

13 衛生管理点検

衛生管理委員(非常勤特別職員)により、給食を提供している5施設の調理場、食品庫、食堂等の衛生管理点検を月1回抜き打ちで実施し、結果を理事長はじめ関係者に報告するとともに、指摘事項については各職場で改善の取り組みを行った。

実施施設

- ・みどり園 ・清川ホーム ・伊勢原ふたば保育園 ・本厚木ふたば保育園
- ・つくし

14 施設整備等

- ・みどり園既存棟改修工事(第5期・第6期工事)
- ・成瀬スタジオ建築工事(作業棟建築工事・事務食堂棟建築工事・電気空調設備工事・給排水衛生設備工事)
- ・成瀬スタジオ外回り整備工事
- ・伊勢原ふたば保育園厨房機器更新入替
- ・清川ホーム指摘事項等改善計画作成業務委託

平成29年度の課題に対する自己評価

(仮称)成瀬スタジオの未活用部分の確実な土地売却収入を目指すものの、特別収入を除く単年度収支の黒字、安定した財政の運営を目指す。

また、保育士や支援員の確保の課題に向け、引き続き、職員の処遇改善や求人サイト拡充等により職員確保策に取り組む。

さらに、新たな社会福祉法人制度改革移行の初年度として、経営組織のガバナンスの強化、事業運営の透明性の向上に努めるとともに、昨年津久井やまゆり園の殺傷事件を教訓とした安全体制のより一層の構築に向け努力する。

① 財政面の強化

①-1 (仮称)成瀬スタジオ未活用部分の土地の売却収入の確保

⇒ 成瀬スタジオ未活用部分の土地(1,954.38㎡)については、一括売却する契約が不調となったことから、成瀬スタジオ未活用部分売却検討会議を開催し売却方法の検討を行い、一括売却から区画分譲とすることとした。全体を16区画とし、平成29年度については全体の半分、歌川側8区画(982.21㎡)を分譲することとし、売却に向けて取り組んだ結果、8区画を一括売却できることとなり、その売却収入は平成30年度収入として確保できることとなった。

①-2 単年度収支の更なる改善

⇒ 平成25～27年度の支出超過の状況から、平成28年度に単年度収支が黒字に転じ、平成29年度においても黒字決算となり安定的な財政状況に改善された。

② 職員確保面の強化

②-1 職員募集方策のより一層の検討と実行

⇒ 職員募集看板の設置、求人広告・求人サイトの拡充、ホームページの見直し等、職員募集方策に注力した結果、平成29年度は、支援員7名、保育士1名、調理員2名、栄養士1名、事務員1名の正規職員を採用できた。

しかしながら、保育士9名の退職者を補充できなかったことから、パート、派遣職員など多様な雇用形態の保育士を活用するとともに、引き続き保育士・支援員の採用に務めなければならない。

②-2 離職防止対策のより一層の検討と実行

⇒ 処遇改善検討委員会を開催し、処遇改善手当の支給額・支給方法、週休2日制の導入と事業所毎の働きやすい勤務体制の検討を行った。また、職員交流委員会を開催し、第4回職員交流会を行ったほか、職員向け広報誌「ゆう」を2回発行するなど福利厚生充実を図った。離職者数は、支援員6名、保育士9名、調理員2名、事務員1名と多かったが、別のステージで働きたい、キャリアアップのためという理由も多く、やむを得ない退職と考えている。

③ 社会福祉法人制度改革を踏まえた円滑な法人運営

③-1 制度改革に伴うガバナンス体制の運営

⇒ 定款変更、新たな理事・評議員の選任など、改正後の社会福祉法に基づいた運営体制を整えることができた。

③-2 事業運営の透明性の向上

⇒ 社会福祉法の改正に基づいた、定款・計算書類等・現況報告書・報酬基準・報酬等の総額の公表等を行い、事業運営の透明性の向上を図ることができた。

④ ハード面の環境整備

④-1 (仮称)成瀬スタジオの事務棟・作業棟等の建築工事

⇒ 7月から建築工事に着手し、11月末に事務・食堂棟(101.97㎡)作業棟(217.04㎡)が完成し、アトリエ ヴェルデが12月2日に移転、4日に事業開始する等、スムーズな事業所移転が完了した。

④-2 みどり園の既存棟第5期・第6期改修工事

⇒ 第5期改修工事で耐震補強工事、第6期改修工事で1階男性居室6室・浴室・トイレの改修工事を完了した。

④-3 伊勢原ふたば保育園の厨房機器の更新整備

⇒ 平成10年に開園以来更新していなかった厨房機器の入替を行うとともに、新たにスチームコンベクションオーブンを導入するなど、厨房環境の向上、調理作業の効率化を図ることができた。

⑤ 安全性の向上(建築物・換気設備・非常用照明設備他)

⇒ 伊勢原ふたば保育園・本厚木ふたば保育園の建築物・換気設備・非常用照明設備他の調査については、法令等による新たな義務化が進んでいることから実施を見送ったが、建物分野のコンプライアンスパートナーによる各施設の建物に係る各種法令遵守の状況確認・建物点検を実施し、コンプライアンスと建物の安全性の向上を図った。

⑥ 緑友会福祉プランの策定に向けて(1年目:業務の見直し)

⇒ 業務改善委員会を開催し、平成29年度に実施した業務改善に対する評価を行うとともに、各施設から新たに提案された改善項目について、実施に向けた検討を行った。(改善したもの3件・今後の検討課題としたもの4件・現状のままとしたもの2件・試験的に導入するもの1件)

⑦ 配偶者控除に係わる年間所得(103→150万円)変化の検討

⇒ 平成29年度の税制改正により、世帯主である夫が控除を満額(38万円)受けられる妻の年収要件が「103万円以下」から「150万円以下」に引き上げられたものの、妻の年収が103万円を超えた場合の、所得税・住民税・社会保険料・扶養手当等の課題があるため、該当する職員の希望を受け、個別説明会を開催した。制度改革が労働時間に与える影響については引き続き検討したい。

II みどり園

1 指定障害者支援施設 みどり園

(1) 利用者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
在籍数	69	69	69	69	68	67	68	68	68	68	69	69
入所	0	0	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0
退所	0	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0
28年度 在籍数	68	68	69	68	68	68	69	69	69	68	69	69

(2) 生活介護通所者数 (入所利用者以外の通所による生活介護の利用者)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
在籍数	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
28年度 在籍数	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3

(3) 行事

4月	1日	開園記念式
5月	25日～26日	一泊旅行(千葉方面)
6月	1日～2日	一泊旅行(那須塩原方面)
6月	20日	つくし衣類訪問販売
7月	7日・9日	平塚七夕祭り
7月	22日	サマーフェスティバル in 清川ホーム
8月	19日	納涼祭
8月	26日	地引網
9月	10日	向上高校こゆるぎ祭
9月	23日	伊勢原市障害者スポーツ大会
10月	18日	日帰り旅行(富士サファリパーク)
10月	31日	ハロウィンパーティー
11月	3日	バザー
12月	3日	ミカン狩り
12月	12日	つくし衣類訪問販売
12月	18日	クリスマス会
12月	23日	向上高校餅つき大会・チャリティーコンサート
1月	11日	新年会

(4) 防災

日 時	訓練種別	訓練状況
5月 30日 9:30～	避難訓練 (日中地震想定)	緊急地震速報を想定して訓練を行った。
8月 6日 9:30～	避難訓練 (日中地震想定)	緊急地震速報を想定して訓練を行った。
9月 1日 10:00～	防災訓練 (地震警戒宣言発令想定)	避難訓練後、炊き出しを行い、火災訓練、担架による搬出訓練を行った。
9月 12日 9:30～	避難訓練 (日中火災想定)	食堂からの出火想定で訓練を行った。
12月 21日 9:30～	避難訓練 (日中地震想定)	緊急地震速報を想定して訓練を行った。
3月 7日 13:30～	総合訓練 (夜間火災消防立会い)	夜間に1階男性洗面所からの出火想定で訓練を行った。夜勤者2名の時間帯を想定し訓練を行った。
3月 24日 9:30～	避難訓練 (日中地震想定)	緊急地震速報を想定して訓練を行った。

・業者による年2回の定期防災機器点検に加え、自主点検も年2回実施した。

(5) 広報

「園だより」を3回発行した。

- ・第167号（6月10日発行）新年度あいさつ・開園記念日・神奈川県障害者スポーツ大会・月間外出・移動販売・一泊旅行・避難訓練・大掃除・ひなまつり・職員紹介
 - ・第168号（11月11日発行）パンバイキング・納涼祭・伊勢原市障害者スポーツ大会・一泊旅行・平塚七夕祭り・富岡ホーム納涼祭・日帰り旅行・職員紹介
 - ・第169号（3月10日発行）移動販売・ハロウィンパーティー・みかん狩り・クリスマス会・向上高校チャリティーコンサート・新年会・映画鑑賞会・行事食
- 常設記事 グループ便り・フォトギャラリー・お知らせ・編集後記

(6) 権利擁護、本人活動支援

① 利用者自治会

年間10回開催。旅行・納涼祭等の行事について話し合ったほか、要望や困ったことなどについて意見が出された。

② 人権委員会

年2回アンケート実施。利用者の呼称・利用者への情報提供・プライバシーの保護・インフォームドコンセントについて話し合った。

(7) 職員研修

日 時	研修種別	研修内容
5月 13日 13:30～	防災研修 防災に係る説明	防災マニュアルを使用し、各種機材の使用方法や各種災害について学んだ。
5月 29日 10:00～	福祉サービスの基本的理念と倫理 講師：つくし相談室柳田室長	柳田室長を講師に迎え、新人職員を対象とした、福祉サービスの基本的理念と倫理について学んだ。
6月 27日 15:30～	組織の職員としての心構えについて 講師：つくし新施設長	新施設長を講師に迎え、新人職員を対象とした、組織の職員としての心構え等について学んだ。
7月 14日 13:30～	心肺蘇生法研修 心肺蘇生法とAEDの取り扱い	伊勢原消防署（2名）の指導の下、心肺蘇生法及びAEDの取り扱いについて学んだ。
9月 9日 14:00～	成年後見制度とは 講師：勝田 俊一氏	保護者会と合同で、成年後見制度について学んだ。
9月 29日 13:30～	障害福祉サービスの利用について 講師：つくし相談室柳田室長	柳田室長を講師に迎え、新人職員を対象とした、障害福祉サービスの利用について学んだ。
11月 11日 17:15～	喉詰まり研修 食物窒息時の対応について	喉詰まり時のマニュアルを使用し、喉詰まりセットの使用方法等について学んだ。
11月 29日 13:30～	統合失調症の理解と対応について 講師：つくし新施設長	新施設長を講師に迎え、統合失調症の理解と対応について学んだ。
12月 6日 13:30～	障害者虐待防止法の理解 講師：内嶋 順一氏	障害者に対する虐待事案をもとに、障害者虐待防止法の理解を深め、障害のある方々への関わりや支援について学んだ。
1月 29日 17:30～	職員のストレングス・権利擁護について 講師：平本 譲氏	職員のストレングスを高めるために、グループディスカッションを交え学んだ。
3月 26日 13:30～	災害救助犬のパフォーマンス研修 講師：村瀬 真平氏	利用者と一緒に、災害救助犬のパフォーマンスを見学し、実際の災害時の対応について学んだ。

2 その他の事業

(1) 短期入所事業

年間 延べ人数 138人 延べ利用日数 839日 (平成28年度 97人 1008日)

(2) 地域生活支援事業【公益事業】

(日中一時支援事業)

年間 延べ人数/日 961人/日 (平成28年度 779人/日)

(余暇活動支援事業)

年間 延べ人数/日 0人/日 (平成28年度 46人/日)

(3) レスパイト事業【公益事業】

項目	29年度				28年度 合計	単位	
	夏期	冬期	春期	合計			
実利用人数	33	15	13	61	63	人	
延利用人数	206	34	39	279	309	人	
延利用時間	1,378	231	244	1853	2,038.5	時間	
利用があった日数	35	5	5	45	46	日	
土日休日利用	6	1	0	7	6	日	
一日平均利用人数	5.8	6.8	7.8	20.4	22.3	人	
最多利用者の利用日数	19	5	5	29	42	日	
昼食利用者	実人員	24	8	6	38	40	人
	延人員	136	20	18	174	206	人
送迎利用者	実人員	20	10	8	38	37	人
	延人員	126	23	21	170	175	人
年齢	平均 男/女	19・19.9/16.5	17・18.7/10	17.6・18.5/11.5	—	—	歳
	最小/最高	6/40	7/41	7/41	6/40	7/39	歳
所属	養護学校	12	5	5	22	28	人
	特別支援学級	7	5	3	15	13	人
	施設等	5	2	3	10	7	人
	ドリーム	0	0	0	0	1	人
	ジャベル(株)	0	0	0	0	0	人
	すぎな会 通所	0	0	0	0	0	人
	デイ工房 花	1	0	0	1	2	人
	ロータス授産センター	1	1	0	2	2	人
	ロータス花水木	1	0	0	1	1	人
	オアシス湘南	1	0	0	1	1	人
	悠トピア	1	0	0	1	2	人
	平塚ふたば会	0	0	0	0	0	人
	あとり	2	1	1	4	1	人
	横浜低温流通(株)	1	1	1	3	3	人
日立製作所	1	0	0	1	1	人	
支援員の状況 (臨時職員)	43	13	17	73	85	人	

サービスマニュー

プール(夏期)・ドライブ・散策・積み木
ビデオ鑑賞・スタンプ画の旗作り など

夏期のみ

- ・今期は納涼祭実施日を休みとし、開催日数が減となった(36日→35日)。
- ・今期は成瀬小での開催となった。
- ・スポーツ広場でインストラクターと共同で行った(成瀬小開催日のみ)。

平成29年度の課題に対する自己評価

- 1 既存棟の改修工事については、引き続き工事関係者と連携して入所利用者のサービス提供維持に努める。また、居室の改修の際には利用者の生活への影響を最小限にとどめるようにする。
 - ⇒ 第5期改修工事で耐震補強工事等を行った。工事騒音等の利用者への影響に配慮し、工事期間中に外出行事を増やすなどのスケジュール調整や工事関係者との連携を図るなどし、問題なく終了できた。さらに、第6期改修工事で1階男性居室6室・浴室・洗面所・トイレの改修を行った。前年度の改修工事と同様に仮設間仕切り等を施す等により入所利用者の生活への影響は最小限にとどめることができた。
- 2 伊勢原市レスパイトサービス事業については、サービス内容の充実が図れるよう更なる検討に努めていく。
 - ⇒ サービス内容の充実については、職員数に余裕がなかったため、例年通りのサービス提供となってしまったが、平成13年度にレスパイトサービス事業を伊勢原市から受託して17年を経過し、放課後デイサービス事業者が市内に10社となったことや、支援職員確保の困難さ等を検討し、伊勢原市と相談した結果、平成29年度をもって受託事業を終了することとなった。
- 3 より一層のサービスの向上を目指し、グループ編成の検討を更に進めていく。
 - ⇒ グループ同士の連携を強め、サービス向上に努めることができた。グループの編成については、グループの枠を超えての取り組みを実施することができた。グループ活動のあり方については更なる検討を行っていく。
- 4 防犯意識を高める上で、不審者対応等防犯訓練を年1回以上は実施していく。
 - ⇒ 県危機管理アドバイザー派遣事業を活用し、危機管理アドバイザーによる防犯設備やマニュアルの確認を行い、防犯対策や危機管理に関する知識の向上を図ることができた。
- 5 業務見直し：布団等の清潔さ向上（全面見直しを適時）
 - ⇒ 利用者の布団等の清潔さを向上させることを目的に、寝具の使用状況を検証し、寝具リースの全面見直しを行ったことにより、布団等の清潔さ・利用者の快適性の向上を図ることができた。
- 6 業務見直し：職員多忙時期の業務内容の見直し
 - ⇒ 職員多忙時期（特に学校の夏期休業中）の業務内容等の見直しを行い、伊勢原市と相談し、レスパイトサービス事業の受託終了となった。
- 7 業務見直し：配偶者控除枠変化を含めて職員配置の検討
 - ⇒ 今年度は、配偶者控除枠変化の影響を踏まえた職員配置の具体的な検討はできなかった。平成30年度に向けて検討を行っていく。

Ⅲ 清川ホーム

1 指定障害者支援施設 清川ホーム

(1) 利用者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
在籍数	53	53	53	52	53	53	52	52	53	53	53	53
入所	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0
退所	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0
28年度 在籍数	53	53	53	53	53	53	53	53	53	53	53	53

(2) 行事

5月13日	ふれあいフェスティバル (雨天にて中止)
7月22日	サマーフェスティバル in 清川ホーム 24
12月19日	クリスマス会
1月16日	どんど焼き
1月23日	新年会
月例行事	みんなの会

グループレクリエーション

	一泊旅行	
Aグループ	10月30日～31日	山梨方面
Bグループ	10月2日～3日	千葉方面
Cグループ	10月16日～17日	伊豆方面
Dグループ	9月25日～26日	山梨方面

(3) 防災

日 時	訓練種別	訓練状況
4月12日 13:30～	避難訓練・浄水訓練 (地震：日中想定)	地震の訓練が、定着しつつある。 浄水訓練も行った。
5月10日 9:30～	避難訓練・消火訓練 (火災：日中想定)	日中1階廊下からの出火を想定した避難訓練 を行った。消火栓訓練も実施した。
7月5日 9:30～	避難訓練・消火訓練 (火災：夜間想定)	夜間1階廊下から出火を想定した避難訓練及び消 火栓訓練も実施し、厚木消防署へ訓練報告した。
7月11日 9:00～	避難訓練・炊き出し訓練 (地震警戒宣言発令想定)	避難訓練後、炊き出しを行い非常食で昼食。 保護者の参加あり。
8月8日 13:30～	避難訓練・浄水訓練 (地震：日中想定)	安全第一迅速な避難誘導を目的とした訓練を 実施した。浄水訓練も実施した。
9月12日 13:30～	避難訓練・消火訓練 (火災：夜間想定)	夕食後2階廊下からの出火を想定した避難訓 練を行った。消火栓訓練も実施した。
10月10日 9:00～	避難訓練・炊き出し訓練 (地震警戒宣言発令想定)	避難訓練後、炊き出しを行い非常食で昼食。 訓練終了後、反省会を実施し問題点を確認した。
11月14日 13:40～	避難訓練・消火訓練 (火災：夜間想定)	22時の想定で職員2名で行った。出火は医務 室。消火訓練も実地した。
12月12日 9:30～	避難訓練・除雪機訓練 (地震：日中想定)	スムーズに避難場所まで移動できた。除雪機 の操作訓練を行った。
1月9日 13:30～	避難訓練・除雪機訓練 (火災：夜間想定)	22時の想定で職員2名で行った。出火は医務 室。除雪機の操作訓練を行った。
2月13日 13:30～	避難訓練・除雪機訓練 (地震：日中想定)	スムーズに避難場所まで移動できた。除雪機 の操作訓練を行った。
3月14日 9:30～	避難訓練・除雪機訓練 (火災：日中想定)	日中1階廊下からの出火を想定した避難訓練を行 い、厚木消防署へ訓練報告した。

業者による年2回の定期防災機器点検に加え、自主点検も2回実施した。

(4) 広報

「清川ホームだより」を2回発行した。

第127号 (9月24日発行) サマーフェスティバル、日帰りレク行事報告他

第128号 (3月25日発行) 一泊旅行、クリスマス会、各グループ反省、その他行事報告
常設記事 作業収益報告、お知らせ、編集後記

(5) 権利擁護、本人活動支援

① あおぞらプラン (かながわ知的障害者権利擁護プラン) の取り組み

神奈川県知的障害施設団体連合会が定めた「あおぞらプラン」に沿って、清川ホームでの実践課題を4つの柱に整理し取り組みを進め、半期に一度まとめを行った。(①生命の安全と健康を保障 ②人権を尊重 ③自己決定、本人の意思を尊重 ④プライバシーの尊重)

② 苦情解決 (厚木地区オンブズマンネットワークの取り組み)

年間7回の相談会を実施。延べ32名の利用者が相談した。会議室をオンブズマン相談会に利用。相談者1人ひとり、順番に相談を行っている。相談内容については、改善や検討の必要に応じ、支援会議等で協議して対応した。

③ 本人活動支援 (厚木地区としての活動)

厚木地区の本人活動支援 (A ネット協力員) 運営会議に年間4回参加した。利用者研修会として、カレー作り、パン作りに参加した。

④ 本人活動支援 (清川ホームとしての活動)

利用者の声を聞く会

年間12回実施。今年度も食事に関する希望が多く寄せられた。利用者間の関係、日頃の生活の問題など内容もバラエティに富んだものとなっている。資料を用意し、文字の情報も提供した。アンケート箱を設置したが、あまり活用されていなかったもので、代筆等のサポートも今後は検討していく。

(6) 職員研修

毎月第2木曜日に職員研修を実施した。人権についての研修、施設見学 (湘南福祉村：はやぶさ学園)、外部研修 (障害者差別解消法・高齢者セミナー) の研修報告を行った。講師を招き、オムツの当て方、口腔ケア研修、不審者対応訓練を行った。

2 その他の事業

(1) 短期入所事業

年間 延べ人数 84人 延べ利用日数 1,262日 (平成28年度 87人 1,385日)

(2) 地域生活支援事業【公益事業】

(日中一時支援事業など)

年間 延べ人数・延べ利用日数 178人/年 (平成28年度 245人/年)

平成29年度の課題に対する自己評価

- 1 高齢利用者には、健康管理を優先し体力維持や向上を考慮した日中活動を提供する。
利用者個々人に配慮し、より充実した日中活動（しいたけ作業や受注作業等）を提供する。
⇒ 高齢利用者には、園庭や階段を利用した運動を取り入れ、体力維持に努めた。また、新たにアラミド繊維解体作業を開始したほか、材料不足で中止していた薪作業を近隣の協力をいただき再開した。
- 2 施設内外の研修に積極的に取り組み、支援技術やプロ意識のさらなる向上を目指す。不審者対応訓練を年一回行う事により、職員の防犯面の心構えや意識向上に繋げるようにする。
⇒ 職員研修を毎月行うとともに「はやぶさ学園」の施設見学を行うなど充実した内容で実施できた。また、昨年同様、厚木警察署生活安全第一課の協力を得て不審者対応訓練を行った。
- 3 避難訓練の質の向上と、災害時に地域住民の避難場所等として機能するよう研鑽を重ねる。
⇒ 今年度より、夜間想定避難訓練を行った。また、新しい炊き出し器具の取扱いに精通し、非常時の利用者への食事や災害時に近隣住民に一時的な食事を提供できるよう備えた。
- 4 職員同士の連携を図り、チームワークを重視した支援ができるようにする。
⇒ 課長職の配置により、職場内の意思疎通がスムーズになり、職員間の連携がとれた様々な支援実績を残すことができた。また、保護者からの要望を受け、利用者の日頃の様子を伝える等の「トピックス」をホームページにアップし、より開かれた施設をめざした。
- 5 行政や社会福祉協議会と情報を共有し、地域の課題を理解する事により、良好な関係を築くようにする。
⇒ 隣接する山林の樹木伐採による環境整備、刈払機安全衛生教育講習会の開催、自衛消防隊消火競技会の参加など、近隣や清川村、厚木市と良好な関係を築くことができた。
- 6 業務の見直し：布団等の清潔さの向上（一部見直しを適時）
⇒ これまでの寝具リースの業務内容を点検し、利用者に清潔な寝具を提供することができた。

IV 伊勢原ふたば保育園

1 認可保育所 伊勢原ふたば保育園

(1) 平成29年度園児人数

	定員	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
0才	11	5	7	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9
1才	13	16	17	18	18	18	18	17	17	17	17	17	17
2才	18	17	18	16	18	18	18	19	20	20	20	20	20
3才	22	22	21	21	21	21	21	21	20	20	20	20	20
4才	28	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25
5才	30	21	21	21	21	22	22	22	22	22	22	22	22
合計	120	106	110	112	112	113	113	113	113	113	113	113	113
	28年度	113	114	115	116	116	117	118	118	118	117	117	117

(2) 行事

4 月	1 日	新年度保育説明会
	3 日	新入園児歓迎会
	21 日	5歳児プラネタリウム見学
5 月	19 日	4歳児春の遠足（平塚総合公園）
	30 日	けやきの郷との交流会（4歳児）1回目
6 月	1 日	5歳児春の遠足（わんぱくランド）
	2 日	3歳児春の遠足（防災の丘公園）
	9 日	牧場見学（5歳児）
	12 日	田植え（5歳児）
	16 日	牧場見学（4歳児）
	27 日	けやきの郷との交流会（4歳児）2回目
7 月	3 日	プール開き
	6 日	七夕の集い
	7 日	おたのしみ会（5歳児）
	15 日	夏まつり
9 月	1 日	引き渡し訓練
10 月	7 日	運動会
	10 日	稲刈り体験
	12 日	芋ほり（4, 5歳児）
	20 日	5歳児秋の遠足（生命の星）
	24 日～26 日	保育参観・懇談会
	27 日	4歳児秋の遠足（新江の島水族館）
11 月	13 日	高森荘との交流会（5歳児）
12 月	9 日	リズム発表会
	22 日	クリスマス会
	28 日	保育終了の会
1 月	9 日	新年の集い
	15 日	消防署見学（4歳児）
	19 日	新春マラソン大会
	26 日	消防署見学（3歳児）
	29 日	消防署見学（5歳児）
	30 日	幼児交通安全教室
2 月	2 日	豆まき
	16 日	石田小との交流会（5歳児）
3 月	1 日	ひなまつり
	2 日	5歳児卒園遠足（八景島シーパラダイス）
	8 日	防災センター見学（5歳児）
	13 日	お別れ会
	17 日	卒園式

※このほか、毎月、身体測定・誕生会を行う。

※5月～6月・1月～2月に個人面談を行う。

(3) 防災

日時	訓練種別	訓練状況
4月11日 10:30	避難訓練 (火災想定)	年度初めの訓練に伴い、各クラスで避難について紙芝居等を通して学んだ。
5月18日 10:30	避難訓練 (地震・火災想定)	非常ベルを実際に慣らして訓練を行う。子ども達もベルの音に反応し、速やかに避難することができた。(予告なし)
6月10日 10:10	避難訓練 (火災想定)	土曜日の異年齢の保育中の火災を想定して訓練を行った。(予告なし)
6月13日 10:00	避難訓練 (爆破予告想定)	突然の爆破予告に迅速に対応し、安全に園児を誘導することができた。(予告なし)
7月24日 9:10	避難訓練 (地震・火災想定)	バケツリレーを行い、実際に子ども達の前で火を消す訓練を行った。(予告なし)
8月21日 15:20	避難訓練 (地震・火災想定)	雨が降っている想定で園庭に避難をし、ブルーシートなどで雨が当たらないように対応した。(予告なし)
9月 1日 9:45	避難訓練 (地震、火災想定総合訓練)	5歳児を対象に広域避難場所(成瀬小学校)までの避難訓練を行った。
16:00～	引渡し訓練	避難訓練と同時に、16:00に職場・家庭からお迎えに来てもらい、保護者への引き渡し訓練を行った。即席で作れる防災用品を実際につくってみたり、手作りスリッパで卵の殻を実際に踏んでみたりと子ども達が体験することができた。
10月 3日 10:45	避難訓練 (台風・土砂崩れ想定)	台風の影響で近隣で土砂崩れが発生したため2階のホールに避難をし、台風の影響で様々な2次災害が発生することを知ることができた。(予告なし)
11月 6日 14:20	避難訓練 (地震・火災想定)	午睡中の地震発生ということで、寝ている園児を不安にさせないよう安全に誘導することができた。(予告なし)
12月12日 17:10	避難訓練 (落雷停電想定)	停電後、各クラスのランタンを使用しながら、安全に避難することができた。
1月16日 10:30	避難訓練 (不審者想定)	不審者が園内に侵入し刃物を持っている想定で、複数の男性職員が初期対応するとともに、園内に不審者発見の放送を流し、各クラス避難体制をとることができた。
1月23日 11:00	避難訓練 (火災想定)	2階ホールでの誕生会後に訓練用の煙を使用して煙の中を避難する訓練を行った。ほふく前進で避難しながら安全に避難することができた。(予告なし)
2月 8日 7:30	避難訓練 (火災想定)	早朝保育時間中の火災発生を想定して訓練を行った。園内にいた保護者も一緒に参加した。
3月27日 10:10	避難訓練 (地震想定)	全園児対象で、第1広域避難場所(成瀬小学校)までの道が通れない想定で、城ノ腰公園に速やかに避難することができた。避難車は使用せず、0歳児はおんぶで避難した。(予告なし)

(4) 広報

- 園だより、クラスだより
- 保健だより
- ホームページの更新

- 毎月発行
- 年4回発行
- 随時

2 その他の取り組み

(1) 地域育児センター事業

ア 育児相談 延べ件数 26件 (平成28年度 31件)
施設開放時・電話相談・面談等

イ 子育て家庭交流事業

① 園庭開放

園庭を開放し、地域の子育て同士の交流、相互の情報交換の場を提供し、また、保育園児との交流を図った。

② 成瀬地区の子育て支援の取り組み

年4回成瀬地区の子育て支援の取り組みとして、成瀬中学校の学区にある教育機関の教職員で構成している「伊勢原市教育センター 地域にある教育機関等連絡協議会 Bブロック」に当園も参加。地域の挨拶運動を重点に、のぼり旗を輪番で設置するなど交流を行った。

ウ 中高生と園児の体験交流事業・夏期保育体験

○7月25日・26日・27日 3名

○8月 1日・ 2日・ 3日 3名

○8月 8日・ 9日・10日 2名

市内在住の中高生に、夏休みを利用した保育体験を通して、生命の大切さとともに、保育園や保育士の仕事を理解できるよう体験してもらった。

エ 世代間等交流事業

○5月29日・6月26日 湘南けやきの郷との交流会

湘南けやきの郷に4歳児が訪問し、利用者の方と歌・手遊びなどのレクリエーションやプレゼント交換を行い、交流を図った。

○11月12日 ケアセンター高森荘との交流会

湘南けやきの郷と同様の交流を行った。

(2) 一時預かり事業

利用状況 (延べ利用人数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間合計
29年度	0	0	0	0	2	0	1	0	3	1	0	0	7人
28年度	2	1	1	0	3	0	1	1	1	2	0	0	12人

(3) 職員研修

不審者対応では、警察署の方に来ていただき実演を交えて対処法を知ることができた。また、保育所保育指針の改定に伴い、今までとの違いやこれからの取り組みに関して全体に周知することができた。

(園内研修)

月 日	内 容	受講人数
5月16日	園内での緊急対応について (設備操作など) (相日防災)	15人
5月23日	不審者への対応 (伊勢原警察署)	25人全職員
6月16日	誤飲の防止法・対処法及び応急手当 (伊勢原市消防署)	全職員
7月 5日	AED講習 (伊勢原市消防署)	全職員
10月16日	保育所保育指針改定について (第一部) (主任)	20人
12月15日	保育所保育指針改定について (第二部) ・乳児保育に関わるねらいと内容 ・幼児期の終わりまでに育って欲しい姿	20人
1月22日	保育所保育指針改定について (第三部) (澁谷先生)	20人
3月 2日	自己評価・園評価 (主任)	15人

(外部研修)

月 日	場 所	内 容	対 象
4月22日	横 浜	神奈川県保育事業大会・総会	保育士
6月12日	港南台	子育て支援専門講座 「保育所における保護者支援」・「子どもにやさしい空間」9/13 「子どもの食と栄養」10/30 計3回	保育士
6月15日	港南台	1歳児保育研修 「1歳児の発達特徴」 「自我の芽生えと社会性」9/11 計2回	保育士
6月16日	港南台	2歳児保育研修 「飛躍的な成長を遂げる体と心の育ち」 「遊びで育つ学びの芽」7/24 計2回	保育士
7月6・7日	茨木県	第58回関東ブロック大会保育研究大会	保育士
7月11日	大 和	保育士の育成	園 長
7月20日	平 塚	給食における食物アレルギー対応について	調理員
7月25日	横 浜	第三者評価について	園 長
8月24日	平 塚	食品衛生責任者講習会	調理員
9月 5日	港南台	インクルーシブ保育研修 「インクルーシブな環境を作る為に」 「園における気になる子どもへの対応」10/27 「関わりの難しい子どもを包括する保育」11/13 計3回	保育士
9月28日	横 浜	保育の考え方・保育の基礎を学び合う	保育士
10月 2日	横 浜	保育利用者相談室研修会 2/5 計2回	保育士
10月16日	港南台	0歳児保育研修「0歳児の発達特徴」 「0歳児と保育者の関わり方」11/7 計2回	保育士
10月21・22日	東 京	アレルギー・リウマチ相談員養成研修会	看護師
10月25日	大 和	小児科の皮膚のトラブルとその対応	看護師
11月 9日	伊勢原	応急手当講習	保育士
11月10日	川 崎	保護者支援・子育て支援 11/21・24 計3回	保育士
11月11日	横 浜	園児向け音楽ダンス	保育士
1月15日	伊勢原	子どもの肥満について	看護師
1月23日	横 浜	新たな保育指針と期待される保育実践	主 任
3月16日	秦 野	保育給食研究会	調理員

近隣で行われる研修には積極的に職員を派遣し、職員会議において研修報告を行った。

平成29年度の課題に対する自己評価

- 園内学習や外部研修等を通し職員の資質や専門性の向上を図り、保育実践を高めていく。
⇒ 園内学習や外部研修を通じ職員の専門性の向上を図ることができた。また、研修内容を職員会議などで周知し保育に活かすことができた。
- 平成30年度の保育所保育指針改定に向けて、職員一人ひとりが改定内容を理解し保育内容に活かしていく。
⇒ 保育指針の改定内容の学習会を行った。引き続き継続して実践し共有していく。
- 避難訓練や不審者対応訓練では、専門的な指導を受け、より実践に近い形で訓練を行い、安心・安全な保育園運営につなげていく。
⇒ 警察による不審者対応の指導や、無害な煙を使用した煙の中の避難訓練など、より実践に近い訓練を行うことができた。

- 4 保護者支援・子育て支援では、保護者・子どもの目線に立ち、管理職・リーダーを筆頭に保育士・看護師・調理員が一体となって力を合わせていく。
⇒ 不測時には管理職にすみやかに報告し問題解決をした。また、気になる子どもの保護者への対応の窓口を看護師に一本化することで情報系統がスムーズになり他機関との連携を円滑に行うことができた。
 - 5 業務見直し：業務内容の軽減と改善
⇒ 書類の簡素化や業務全般の見直しを進め、業務内容の軽減につなげることができた。
 - 6 業務見直し：IT化推進の検討や写真販売方法などの改善
⇒ 写真の販売方法を業者委託することで、集計作業・現金の取り扱いなどの事務が軽減された。また、卒園アルバムも業者委託したことで、作成時間が短縮された。IT化推進では、平成30年度に向けて「総合保育業務システム」の導入を検討した。
 - 7 安全性向上：食（厨房機器）の安全性向上
⇒ 開園以来使用している厨房機器の入れ替えを行い、調理の作業時間・作業工程の改善、安全性の向上が図られた。
 - 8 安全性向上：建築物等定期調査報告の新規導入
⇒ 建築物・換気設備・非常用照明設備他の調査については法令等による新たな義務化が進んでいることから実施を見送ったが、建物分野のコンプライアンスパートナーによる各施設の建物に係る各種法令遵守の状況確認・建物点検を実施し、コンプライアンスと建物の安全性の向上を図った。
- *保育士不足が深刻で保育士確保が進まない中で、退職した保育士を補充する派遣保育士の確保も難しいことから、平成30年度当初の乳児受け入れができない状況となった。

V 本厚木ふたば保育園

1 認可保育所 本厚木ふたば保育園

(1) 平成29年度園児人数

	定員	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
0才	12	3	3	5	6	8	9	9	9	9	9	9	9
1才	13	12	12	12	11	12	12	12	12	12	12	12	12
2才	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13
3才	13	12	12	12	12	12	12	13	13	13	13	13	13
4才	14	10	11	11	11	11	11	12	12	12	12	12	12
5才	14	10	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11
合計	79	61	62	64	64	67	68	70	70	70	70	70	70
28年度	79	60	62	61	63	64	66	66	66	67	68	68	68

(2) 行事

4月 3日	入園・進級式 保育説明会及び懇談会	1月 9日	新春の集い
5月 8日	さつまいも苗植え	12日	伝承遊び
19日	遠足（荻野運動公園 3歳以上）	15日～2月23日	個人面談
6月 1日～7月14日	個人面談	2月 2日	豆まき
12日	田植え（5歳）	16日	お店屋さんごっこ
7月 7日	七夕の集い	3月 2日	ひなまつり会
15日	夏まつり	6日	卒園児を送る会
28日	お楽しみ会（七沢ふれあいセンター5歳）	16日	思いで遠足
9月 8日	引渡し訓練	23日	卒園式
10月11日	プラネタリウム	30日	修了式
13日	稲刈り		
21日	運動会		
25日	芋ほり		
11月 2日	遠足（三川公園 3歳以上）		*各月に、誕生会、身体測定 避難訓練などを実施
17日	クラス懇談会		
12月16日	生活発表会		*年2回 内科健診、歯科健診
22日	クリスマス会		

(3) 防災

日時	訓練種別	訓練状況
4月25日 9:45～	避難訓練 (凶上、地震・火災想定)	各クラスで避難・消火・通報について紙芝居などを通して話し合った。乳児クラスは保育士の動きを確認した。
5月9日 9:45～	避難訓練 (地震想定)	各クラスで防災頭巾の被り方の説明をした。避難通路までの避難訓練を行った。3・4・5歳児は園庭へ避難した。
6月6日 16:00～	避難訓練 (火災想定)	園内放送をよく聴き、落ち着いて行動する訓練を行った。
6月13日 9:45～	避難訓練 (不審者想定)	不審者から子どもを離し、侵入者の目に触れないように避難した。
7月4日 9:30～	避難訓練 (火災想定)	西側非常階段の火災を想定し、放送を聴いて保育士の指示で行動した。
8月1日 14:55～	避難訓練 (地震想定)	午睡中の地震発生を想定して、訓練を行った。
9月8日 16:15～	避難訓練 (地震想定総合訓練)	警戒宣言発令を想定し、避難について紙芝居などを通して学んだ。
16:30～	引渡し訓練	16:30～17:00の時間帯に保護者対象の引渡し訓練を行った。台風のため、急きょエントランスホールでの引渡しとした。
10月3日 17:00～	避難訓練 (火災想定)	遅番の時間帯の避難を想定して対応できるようにした。園内にいた保護者も参加した。
11月7日 10:30～	避難訓練 (地震想定)	園外活動(散歩)中の避難訓練を行った。スムーズに避難でき、園に連絡できた。
12月5日 8:30～	避難訓練 (火災想定)	7階住居からの火災を想定し、放送を聴いて保育士の指示でビルの前まで避難した。
1月10日 9:45～	避難訓練 (地震(震度5)想定)	予告なしで園内放送で避難した。
2月6日 8:00～	避難訓練 (地震想定)	早番の時間帯での避難を想定して対応できるようにした。園内にいた保護者も参加した。
2月27日 15:30～	避難訓練 (不審者対応)	実際に不審者が侵入した想定で、速やかに避難した。
3月6日 15:30～	避難訓練 (火災想定)	火災現場を把握し、適切な避難ができるようにした。(予告なし)

(4) 広報

- 園だより、クラスだより毎月発行
- 保健だより 年4回発行
- ホームページ内の「園内イベント紹介」は、行事を行うごとに更新した。

(5) 職員研修

*外部研修

4月	9日	新任保育士激励会（新任保育士）
5月	23日	調理場に発生する衛生害虫の生態と駆除方法について
6月	15日	0歳児担当者交流会・1歳児保育研修
	16日	2歳児保育研修
	20日	カウンセリングを活かした保護者対応講座（全5回）
	30日	保護者との関係構築について
7月	11日	保育士の育成研修会
	12日	乳児保育の現場で重大事故を起こさないための集中トレーニング
	21日	新人保育士交流会
	24日	2歳児保育研修
	7日	伝える力研修
	8日	サマースクール横浜大会
8月	9日	改定保育所保育指針セミナー
9月	11日	1歳児保育研修
10月	16日	0歳児の発達の特徴
	20日	食品衛生講習会
	27日	インクルーシブ保育研修（全3回）
11月	7日	0歳児と保育者の関わり方
	26日	リズム研修
	27日	「子どもの絵を覗いてみたら」～子どもの今が見えてくる～
	28日	「みんなで考え、育もう。食物アレルギーっ子の豊かな食生活」
	30日	乳児の慢性疾患
	23日	乳幼児期のアレルギー対応（保育士1名）
12月	12日	第三者評価に関する事業者説明会
1月	31日	保育所等食育研修会
2月	2日	子どもと楽しむ絵本の世界

*内部研修

6月～3月 改定新保育所保育指針について（計3回）
年間通して それぞれの研修発表

2 その他の取り組み

① 和太鼓への取り組み

年長児が、運動会での発表に向けて、和太鼓に取り組んだ。
礼儀作法や、姿勢、リズム感など真剣に取り組む事ができた。

② 厚木看護専門学校訪問

看護学生の手作りおもちゃで遊んだ。
0歳児から参加でき、楽しむ事ができた。

平成29年度の課題に対する自己評価

- 1 認可保育所として3年目になり、より安定した運営を目指す。
⇒ 入園の手続き方法など、厚木市保育課と連携を密に取りながら運営した。
 - 2 平成30年度の「保育指針」改正に向けて、職員の相互理解に努める。
⇒ 研修を通して職員の「保育指針」の相互理解を得るように努め、平成30年度にすぐに活用できるように意識付けた。
 - 3 職員が同じ方向性を目指し、日々の保育に取り組む。
⇒ 研修等を通して職員の資質や専門性の向上に努め、保育に取り入れた。
 - 4 地域の特徴を出し、地域に溶け込んだ保育園を目指す。
⇒ 日々の保育に追われたり、職員配置に余裕がないため、地域の子育て支援は充実できていないが、公園で地域の方と一緒に遊び、地域内の他園との交流はできた。厚木市で取り組んでいる「赤ちゃんの駅」としての授乳や休憩の利用提供はできた。
 - 5 真心保育で、安心・安全な保育園運営ができるように職員が一丸となって取り組む。
⇒ 保育士としての自覚の向上を図り、子ども達一人ひとりに対し丁寧に、より安心安全な保育を目指した。
 - 6 業務見直し：IT化推進・写真販売方法などの改善
⇒ 総合保育業務支援システム「キッズビュー」の導入により、保育士の保育計画や日誌等の作成時間を大幅に短縮できたほか、保護者が登降園時間をタブレット入力し、IT化による事務の効率化を図ることができた。また、写真を保護者が直接業者から購入する写真販売方法を導入したことにより、業務の改善、事務の軽減が図られた。
 - 7 業務見直し：保育方針の見直し
⇒ 子どもの最善の利益を最優先に考えた基本方針を掲げ、心身共に健やかに育つよう心掛けた。
 - 8 安全性向上：建築物等定期調査報告の新規導入
⇒ 建築物・換気設備・非常用照明設備他の調査については法令などによる新たな義務化が進んでいることから実施を見送ったが、建物分野のコンプライアンスパートナーによる各施設の建物に係る各種法令遵守の状況確認・建物点検を実施し、コンプライアンスと建物の安全性の向上を図った。
- * 課題の実現は進んだものの、すぐ近くに新たな保育所が3園開設するなど、首都圏全体で保育所が急激に増え、保育士確保については厳しさが増しており、退職する保育士すべてを補充できなかつたため、平成30年度当初の乳児受け入れは見送らざるを得なかつた。

VI げんき家

共同生活援助事業

1 設置場所

伊勢原市桜台2-16-25 エクセル伊勢原201号 利用者 4名

2 利用者に対する支援

知的障害のある者が、地域で自分らしく生きることができるよう暮らしのサポートを行い、交流、共感、体験を念頭に、利用者の立場に立ったサービスを提供した。

3 ホームの1日

時間	主な内容
7:00	起床 朝食 出勤 【職場、施設、作業所など】
17:30	帰宅 (世話人と夕食づくり)
18:30	夕食 (世話人と食器片付け)
19:30	入浴 自由時間 就寝

※ 休日は、自由行動。(帰宅、買い物、趣味嗜好の外出など)

大きな事故等もなく、利用者の地域生活に密着した支援ができた。

入居利用者1名が、腰痛の悪化に伴い就労先を退職されている。健康管理について世話人と連携を図り、早期対応を行った。

バックアップ施設となっているみどり園の職員と世話人との協力体制のもと、土日の食事提供を行いながら利用者の状況把握に努めた。

平成29年度の課題に対する自己評価

- 1 サービス管理責任者を中心に、入居者の特性について理解を深めていく。
⇒ 就労が困難となった利用者の特性の理解が進んでいたため、つくしやつくし相談室とも連携をとりつつ対応できた。
- 2 高齢入居者の健康管理に重点を置きながら、一般就労している方の就労継続を支援していく。
⇒ 高齢入居者の健康管理に重点を置く支援を心がけ、必要に応じて通所先への送り出しの見守り等も行っている。一般就労している利用者にはコミュニケーションをとり、問題があれば早期に対応できるよう管理者兼世話人と連携を図った。
- 3 職員は、法人内外の研修参加を継続する。
⇒ 法人内外の研修会情報の提供を行い、研修に参加した。必要に応じてみどり園職員がフォローに入り対応した。

Ⅶ つくし

就労継続支援B型事業所

定員 30名

所在地 伊勢原市伊勢原3-6-7 (伊勢原スタジオ)

1 利用者数 (月別の開所日数、1日平均利用者数)

平成29年度実績

登録者平均利用率 48.55%

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均
開所日数	26	27	26	26	25	26	27	26	25	24	24	26	25.7
登録者数	47	48	49	49	51	50	49	49	50	50	49	50	49.3
延利用者数	559	586	660	630	604	658	661	634	630	606	557	596	615.1
平均作業工賃	11,183	11,316	12,059	12,914	15,942	12,259	13,454	12,489	18,782	12,279	12,205	14,349	13,134

平成28年度実績

登録者平均利用率 47.92%

月	4	5	6	7	8	9	10	11		1	2	3	平均
開所日数	26	26	26	26	26	26	27	26	25	26	24	27	25.9
登録者数	47	48	49	49	49	49	47	47	46	47	47	48	47.8
延利用者数	596	612	655	623	529	600	578	582	581	566	564	632	593.2
平均作業工賃	12,688	13,375	13,275	12,781	15,139	13,139	13,730	12,597	14,556	10,863	11,524	12,623	13,051

※ 登録者平均利用率=延利用者数÷(登録者数×開所日数)

2 作業内容

施設内作業

自動車部品の下加工・選別・シール貼り/化粧箱組立、セット作業、
検品、段ボール組立、小型家電リサイクル解体

施設外就労

出向先の施設清掃/倉庫内での蓄冷材洗浄、カタログ仕分け等

自主事業

オリジナルカレンダー・絵葉書・手芸品等の販売・リサイクル品販売など

3 その他の活動

就労支援活動

SST (社会生活技能訓練)、一般企業に就労実績 3名 (28年度 3名)

実習生受入

東海大学健康科学部看護学科・社会福祉学科、田園調布学園大学・子ども未来学部子ども未来学科・人間福祉学部社会福祉学科

4 行事

- 4月 14日 東海大学健康科学部看護学科体験発表(東海大学伊勢原キャンパス)
- 23日 西湘地域統一メーカーバザー (平塚市総合運動公園)
- 5月 17日 スポーツ交流会 (秦野・伊勢原地区 秦野市総合体育館)
- 6月 6日 日帰り旅行 (横浜中華街)
- 6月 10日 ほっぷすてっぷガレージセール (サンライフ鶴巻)
- 20日 みどり園衣類訪問販売
- 7月 7日 平塚七夕見物
- 8月 1日 蕎麦打ち体験 (食堂)
- 25日 わいわいマーケット映画会 (伊勢原市民文化会館)
- 29日 暑気払い (すたみな太郎)
- 9月 20日 バーベキュー大会 (県精連秦野足柄上地区 表丹沢野外活動センター)
- 23日 伊勢原市障害者スポーツ大会 (伊勢原市体育館)
- 10月 14・15日 道灌祭(つくし敷地内)
- 6日 西湘地区障害者就職面接会
- 28日 みくるべ病院祭
- 31日 精神保健福祉ボランティア基礎講座 (当事者体験発表等 シティプラザ)
- 11月 16日 日帰り旅行 (上野動物園)
- 17日 ハートメッセージ (平塚市中央公民館大ホール)
- 12月 9日 ふれあい福祉まつり (すこやか園)
- 6日 「障害者週間」街頭啓発キャンペーン
- 9日 みどり園衣類訪問販売
- 11日 宮ヶ瀬ダムツリー見学
- 20日 精神障害者スポーツ大会ボウリング競技会 (湘南東急ボウル)
- 1月 14日 精神障がい者事業所連絡会主催合同新年交流会 (シティプラザ)
- 2月 21日 梅見会(別所梅林)
- 23日 秦野足柄上地区ブロック交流会 (ボウリング大会)
- 24日 おおやまみち梅まつり販売会
- 3月 3日 日産ロードレース出店 (日産自動車(株)テクニカルセンター内)
- 3月 26日 花見会 (秦野市中央運動公園)

※ その他、絵手紙教室、街頭募金、初詣、送別会など

5 防災

日 時	訓練種別	訓練状況
9月12日	避難訓練(地震想定)	混乱なくスムーズに避難できた。
3月12日	避難訓練(火災想定)	混乱なくスムーズに避難できた。

平成29年度の課題に対する自己評価

- 1 倉庫等の施設外作業を発注していただける企業を開拓し、高単価で安定した仕事の獲得を図り、工賃向上をめざす。
⇒ 生活協同組合パルシステムと交渉を行い、パルシステム倉庫内で蓄冷材洗浄作業等を行わせていただく契約を締結している。その結果、比較的高単価で安定した仕事を獲得することができ、倉庫作業に参加する利用者の工賃を向上させることができた。施設外作業は安定した仕事が獲得できたので、平成30年度は受注している施設内作業の種類や作業量の増加に対応できるように作業状況の見える化を行い、施設内作業の業務効率化、生産性向上を課題として検討していく。
- 2 スーパービジョン体制(「支持的機能」「教育的機能」「管理的機能」)を整えることをめざす。
⇒ 職員全員を対象にスーパービジョン基礎研修を実施し、職務表3級以上はスーパーバイザー研修を受講し、職員全員がスーパービジョン体制を整える意義を理解しつつある。平成30年度も、更に研修を重ねてスーパービジョン体制を整えていきたい。
- 3 平成28年度は3名の利用者が一般企業に就労することができたので、引き続き円滑に就労できるように支援するとともに、一般企業や関係機関と連携をして、就労定着支援を強化していく。
⇒ 平成29年度も3名の利用者が一般企業に就労することができ、企業の担当者や関係機関と連携して、就労定着支援を強化することができた。引き続き就労支援体制、定着支援体制の強化に努めていく。
- 4 つくし3事業の組織間連携と情報共有・作業連携の検討。
⇒ つくし相談室との情報交換・情報共有により、就労支援を含めて連携することができた。
アトリエヴェルデとの作業連携においては、受注作業の取引先企業が違うこともあり、連携するケースは少なかった。アトリエヴェルデの登録者数も増えてきているので、お互いに特性や強みを活かせる作業の情報交換を強化していく。

Ⅷ アトリエ ヴェルデ 就労継続支援B型事業所

定員 20名 所在地 伊勢原市田中70-5 サンライトオアシス101・201
平成29年12月4日から 伊勢原市高森1422-7(成瀬スタジオ)

1 利用者数（月別の開所日数、1日平均利用者数）

平成29年度実績

登録者平均利用率 86.78%

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均
開所日数	22	22	22	23	22	22	23	22	21	21	20	23	21.9
登録者数	21	21	21	20	20	20	21	21	19	19	22	22	20.6
延利用者数	367	370	383	413	402	402	424	418	373	342	375	429	391.5
平均作業工賃	13,579	14,888	14,852	17,690	16,940	17,032	16,938	16,966	17,077	15,547	15,295	17,260	16,088

平成28年度実績

登録者平均利用率 68.64%

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均
開所日数	22	23	22	23	22	22	23	20	23	23	21	23	22.3
登録者数	16	16	16	17	15	15	15	15	15	15	15	18	15.7
延利用者数	178	247	243	250	222	220	269	250	239	259	225	282	240.3
平均作業工賃	9,989	12,022	16,094	11,365	10,922	12,287	13,027	13,683	21,984	14,738	13,846	12,810	13,273

※8月、12月に別途賞与を支給

※ 登録者平均利用率＝延利用者数÷(登録者数×開所日数)

2 作業内容

施設内作業 クリーニング作業、ボールペン組み立て、化粧箱組立、ダンボール組立

3 その他の活動

- ・ 伊勢原養護学校実習生受入
- ・ 七沢学園実習生受入
- ・ 伊勢原養護学校教員実習受入

4 行事

4月 6日(木)	お花見
5月12日(土)	ふれあいフェスティバル
6月23日(木)	日帰り旅行
7月13日(木)	暑気払い
9月 9日(土)	保護者会
9月12日(火)	防災訓練(防災センター見学)
9月23日(土)	伊勢原市障害者スポーツ大会
10月 5日(木)～10月6日(金)	一泊旅行(房総鴨川温泉)
12月 7日(木)	忘年会
2月13日(火)	防災訓練
3月 4日(土)	保護者会

5 防災

日時	訓練種別	訓練状況
9月12日	避難訓練 (地震想定)	混乱なくスムーズに避難できた。訓練後神奈川県総合防災センターを見学した。
2月13日	避難訓練 (火災想定)	混乱なくスムーズに避難できた。

平成29年度の課題に対する自己評価

- 1 利用者の増員に努め、安定した運営を図る。
⇒ 年度当初の登録者は21人で、1日の平均利用者は16.6人であったが、7月以降17.9人、11月は18人と出勤率も良くなってきた。平成30年度も数名の利用希望者が見込まれているが、更なる利用者増に務めるとともに利用者の就労を目指していく。
- 2 利用者の工賃の向上を図る。
⇒ 作業量の確保は出来ているが、単価が低いことから工賃の向上には繋がっていない。新たに始めた施設外就労についても、出勤率の高さに比べて作業量が増加していないことから、今後は利用者の作業スキルの向上に努め、作業力のアップに繋げていく。
- 3 成瀬スタジオ移転後の円滑な運営と利用者の安全な送迎や安定した作業提供に努める。
⇒ 成瀬スタジオへの移転は、大きな混乱もなくスムーズに行うことができた。また、送迎についても、利用者と連絡を密に取りながら安全な送迎ができていたが、平成30年度の送迎希望者の状況によって送迎車両の増車等を検討しなければならないと考えている。
- 4 「つくし」との連携協力強化。
⇒ 新たに開始した施設外就労と室内作業の支援により、「つくし」との職員の交流ができなかったが、平成30年度は連携と協力強化を図っていく。
- 5 余暇活動の提供(土曜日の出勤を1日とし余暇の活動の提供に努める)
⇒ 余暇活動の提供については、土曜の開所日が少ないため利用者一人ひとりに合わせた継続的な提供が難しかった。また、余暇を自分で持てる利用者に対する提供内容についても今後の検討課題としたい。
- 6 業務見直し：支援方針等の見直し(移転を機に)
⇒ 成瀬スタジオの作業室は広いため利用者一人ひとりの能力に合わせた作業配置をすることができた。今後は、就労に向けた個人のスキルアップに繋がる個別的な支援を行っていく。

Ⅸ つくし相談室

相談支援事業

1 開所日数

268日（H28：263日） 1日平均相談件数 26.9件（H28：35.3件）

2 相談実績

（1）相談実人数（障害者手帳の区分）

	身体障害	重度心身障害	知的障害	精神障害	発達障害	高次脳機能障害	その他	総数
29年度	16	0	75	140	2	0	2	235
28年度	18	0	74	160	0	0	5	257

（2）相談登録者数

	身体障害	重度心身障害	知的障害	精神障害	発達障害	高次脳機能障害	その他	総数
29年度	16	0	132	146	3	4	0	301
28年度	24	0	115	190	0	0	29	358

（3）支援方法

	訪問	来所相談	同行	電話相談	電子メール	個別支援会議	関係機関	総数
29年度	573	803	140	3,576	4	32	2,084	7,212
28年度	708	809	138	4,793	15	50	2,772	9,285

主な支援内容

- ・福祉サービスの利用に関する支援（サービス等利用計画） 4,500 件
- ・健康医療に関する支援 3,788 件
- ・家族関係・人間関係に関する支援 2,125 件
- ・就労に関する支援 870 件
- ・その他 3,371 件

3 相談実績の分析とその対応

相談数が増加の一途で相談支援体制の強化だけでは対応できなくなってきたため、平成29年度は行政等関係者の理解を得た中、年度当初の新規受入れを停止して、相談室の利用者数やサービスの内容、相談員の負担などを総合的に分析し、職員の心身の負担軽減、質量ともに適正なサービスを提供するための体制の方針として「つくし相談室のあり方」を作成し、年度後半から段階的に新規の相談の受入れを再開した。

その結果、平成29年度の相談実人数、相談登録者数などは減少したが、職員の負担感の減と利用者へのより丁寧な対応ができたと認識している。

また、各種福祉制度の狭間で生活に困難をきたしている支援を要する方に対しては、専門的な援助知識・相談技術を活用して迅速にきめ細やかな援助を行う

「かながわライフサポート事業」を引き続き行った。

※「つくし相談室のあり方」・登録利用者の件数、支援内容を分析し、定期的な支援の見直しを行うなど職員の業務の負担感を減らすよう対策し、適正な支援を行う方向性を示したつくし相談室の業務方針。

平成29年度の課題に対する自己評価

- 1 サービス等利用計画作成に伴う計画相談及び一般相談の件数の急増への対応
計画件数の増加に対して、適切かつ丁寧な支援を行うための対策を講じる。
 - (1) 現在登録している利用者の支援頻度及び具体的内容を定期的に精査し、職員が円滑かつ手厚い支援が行える相談体制に踏み出す。
⇒ 登録利用者の支援頻度や具体的支援内容を定期的に精査し、職員の負担感なども分析した。「つくし相談室のあり方」方針に基づき、「よりきめこまやかにより丁寧に」をモットーに支援を行った。
 - (2) 相談ケースの情報共有を日常的に行い、例えば担当職員不在時でも必要な場合は迅速に対応できる様な体制づくりを検討する。
⇒ 担当者不在時でも迅速に対応するとともに、困難事例は相談員2人体制にして対応した。
 - (3) 相談は、原則として予約制、時間内対応とし、関係部署にも周知を行う。
⇒ ナンバーディスプレイの表示される留守番機能付き電話機を導入したため、緊急時対応の要否もわかり、職員の負担感も減少した。
また、開所時間を利用者及び関係機関に周知した結果、時間外の電話が減少し、事務作業に集中できた。
- 2 関係機関との連携
現在の登録者に対する相談支援に重点をおき、新規相談は当面の間、受入れができないことも関係機関に理解を頂きつつ、少しでも早く新たな相談が受けられるよう努力する。
⇒ 「つくし相談室のあり方」に基づいた新規相談の受け入れを再開した。
受入れにともなう職員の負担を3ヶ月ごとに定期的に見直していく。
- 3 第二種社会福祉事業である生計困難者に対する相談支援事業「かながわライフサポート事業」について引き続き円滑な運営に努める。
⇒ 相談案件の数件のうち、つくし相談室の利用者1名が事業の対象となった。神奈川県社会福祉協議会と協議し、家賃や光熱水費などのライフラインの支払いなどの支援を行うとともに、健全な収支を維持するための家計相談を継続して行うことになった。
- 4 業務見直し：つくし相談室の相談支援体制の改善
職員がよりきめやかにかつより丁寧な支援が行える相談員支援の職員体制、支援方法等を改善する。
⇒ 「つくし相談室のあり方」を作成した。

X 施設間連携室

1 設置場所

伊勢原市粟窪605-1

2 事業内容

マイクロバスによる利用者の送迎・各施設への貸し出し調整等

3 実績報告

年月日	件名	貸出物品	貸出先
29. 4. 6	お花見	三菱マイクロバス	アトリエ ヴェルデ
29. 4. 21	プラネタリウム見学	三菱マイクロバス	伊勢原ふたば保育園
29. 5. 8	さつま芋苗植え（みどり園）	三菱マイクロバス	伊勢原ふたば保育園
29. 5. 8	さつま芋苗植え（みどり園）	日産マイクロバス	本厚木ふたば保育園
29. 5. 19	遠足（荻野運動公園等）	三菱マイクロバス	伊勢原ふたば保育園
29. 5. 19	遠足（平塚総合公園）	日産マイクロバス	本厚木ふたば保育園
29. 5. 23	日帰り旅行	レジアスエース	清川ホーム
29. 5. 30	地域交流会（湘南けやきの郷）	三菱マイクロバス	伊勢原ふたば保育園
29. 6. 1	日帰りレク	三菱マイクロバス	アトリエ ヴェルデ
29. 6. 1	遠足（わんぱくランド）	日産マイクロバス	伊勢原ふたば保育園
29. 6. 2	園外保育	三菱マイクロバス	伊勢原ふたば保育園
29. 6. 6	日帰り旅行	三菱マイクロバス	つくし
29. 6. 8	プラネタリウム見学	三菱マイクロバス	本厚木ふたば保育園
29. 6. 12	田植え（加藤花園）	三菱マイクロバス	本厚木ふたば保育園
		日産マイクロバス	伊勢原ふたば保育園
29. 6. 27	地域交流会（湘南けやきの郷）	三菱マイクロバス	伊勢原ふたば保育園
29. 7. 13	暑気払い（びっくりドンキー）	三菱マイクロバス	アトリエ ヴェルデ
29. 7. 28	お楽しみ会	三菱マイクロバス	本厚木ふたば保育園
29. 8. 29	暑気払い（すたみな太郎）	三菱マイクロバス	つくし
29. 9. 6	利用者健康診断	三菱マイクロバス	つくし
29. 9. 11	利用者健康診断	三菱マイクロバス	つくし
29. 9. 12	防災センター見学	日産マイクロバス	アトリエ ヴェルデ
29. 9. 13	利用者健康診断	三菱マイクロバス	アトリエ ヴェルデ
29. 9. 20	バーベキュー	三菱マイクロバス	つくし
29. 10. 4	利用者健康診断	三菱マイクロバス	つくし
29. 10. 10	稲刈り（加藤花園）	三菱マイクロバス	伊勢原ふたば保育園
29. 10. 12	さつま芋掘り（みどり園）	三菱マイクロバス	伊勢原ふたば保育園
		日産マイクロバス	
29. 10. 13	稲刈り（加藤花園）	三菱マイクロバス	本厚木ふたば保育園
29. 10. 20	園外保育	三菱マイクロバス	伊勢原ふたば保育園
29. 10. 26	さつま芋掘り（みどり園）	三菱マイクロバス	本厚木ふたば保育園
29. 10. 26	インフルエンザ予防接種	三菱マイクロバス	アトリエ ヴェルデ
29. 10. 27	園外保育	三菱マイクロバス	伊勢原ふたば保育園
29. 10. 30	インフルエンザ予防接種	三菱マイクロバス	つくし
29. 11. 1	インフルエンザ予防接種	三菱マイクロバス	つくし・相談室
29. 11. 2	遠足	三菱マイクロバス	本厚木ふたば保育園
29. 11. 13	地域交流会（高森荘）	三菱マイクロバス	伊勢原ふたば保育園
29. 11. 16	ゴミ処理	軽トラック	伊勢原ふたば保育園
29. 12. 7	利用者忘年会	三菱マイクロバス	アトリエ ヴェルデ
30. 1. 15	消防署見学	三菱マイクロバス	伊勢原ふたば保育園
30. 1. 26	消防署見学	三菱マイクロバス	伊勢原ふたば保育園
30. 1. 29	消防署見学	三菱マイクロバス	伊勢原ふたば保育園
30. 2. 1	園外保育（平塚総合公園）	三菱マイクロバス	伊勢原ふたば保育園
30. 2. 16	石田小交流会	三菱マイクロバス	伊勢原ふたば保育園
30. 2. 21	梅見祭り	三菱マイクロバス	つくし
30. 3. 2	遠足（八景島シーパラダイス）	三菱マイクロバス	伊勢原ふたば保育園
30. 3. 8	防災センター見学	三菱マイクロバス	伊勢原ふたば保育園
30. 3. 16	遠足（新江ノ島水族館）	三菱マイクロバス	本厚木ふたば保育園
		日産マイクロバス	
30. 3. 19	石田小交流会	三菱マイクロバス	伊勢原ふたば保育園

マイクロバス送迎の調整については、各事業所がきちんと予定表を作成したことにより、スムーズに対応することができた。

連携室専従職員を配置し、各事業所の予定に沿ったマイクロバス運転等に従事することができた。また、各施設の小修繕等の応援体制も確立することができた。

他事業所の職員がマイクロバスの運転免許を取得し、運転に従事するようになったので、さらにマイクロバス運行計画も組みやすくなった。

平成29年度の課題に対する自己評価

- 1 施設間でのマイクロバス送迎や貸出の調整、小課題の問題解決に向けた取り組み、みどり園花壇農園での保育園さつま芋掘りの手伝い等を中心に行っていく。
⇒ マイクロバス送迎や貸出の調整については、各事業所の予定表を作成しスムーズに対応することができた。小課題の問題解決に向けた取り組み、みどり園花壇農園での保育園児によるさつま芋掘りの手伝い等は予定どおり行った。
- 2 夏期はレスパイトサービスの開催時期と重なる為、各事業所の予定を調整しながらマイクロバス送迎等の協力体制の検討をしていく。
⇒ 夏期レスパイトサービス期間の各事業所の協力により、レスパイトサービス送迎に連携室専従職員が専念することができた。他事業所との予定を調整した為、マイクロバス送迎等の協力体制をスムーズに行うことができた。
- 3 必要に応じて、ボランティア運転手の開拓を行っていく。
⇒ 他事業所の職員がマイクロバスの運転を行うことにより、マイクロバス運行計画が組みやすくなった。
- 4 業務見直し：アトリエヴェルデ移転に伴う送迎支援の検討。
⇒ アトリエヴェルデ移転に伴う送迎支援については、車両の交換・提供による送迎車両の確保に協力した。